

休眠預金活用事業における協働のためのPOの役割 ～プログラムオフィサーの皆さんへの期待～

2024年4月

助成事業部 和田

プログラムオフィサー(PO)とは…?

問1. POのコンピテンシーとして重視することは?

問2. POの業務内容で一番時間を割くことは？

問3. 伴走支援で実施していることは?

答（参考）

問1. POのコンピテンシーとして重視することは?

コミュニケーション力

多様性の観点

分析的思考

組織内外の人たちの
協働を推進する力

事業成果や知見を
集約し、共有する力

資金提供先との
関係性構築

評価能力

倫理的責任

問2. POの業務内容で一番時間を割くことは？

1位

非資金的支援(伴走支援)

2位

プログラムの開発や修正

3位

募集・申請受付

問3. 伴走支援で実施していることは?

事業展開
にかかわる助言

広報・情報発信
にかかわる助言

先進事例や団体
の紹介・情報提供

連携・協働先の紹介

事業評価にかかわる助言

会計にかかわる助言

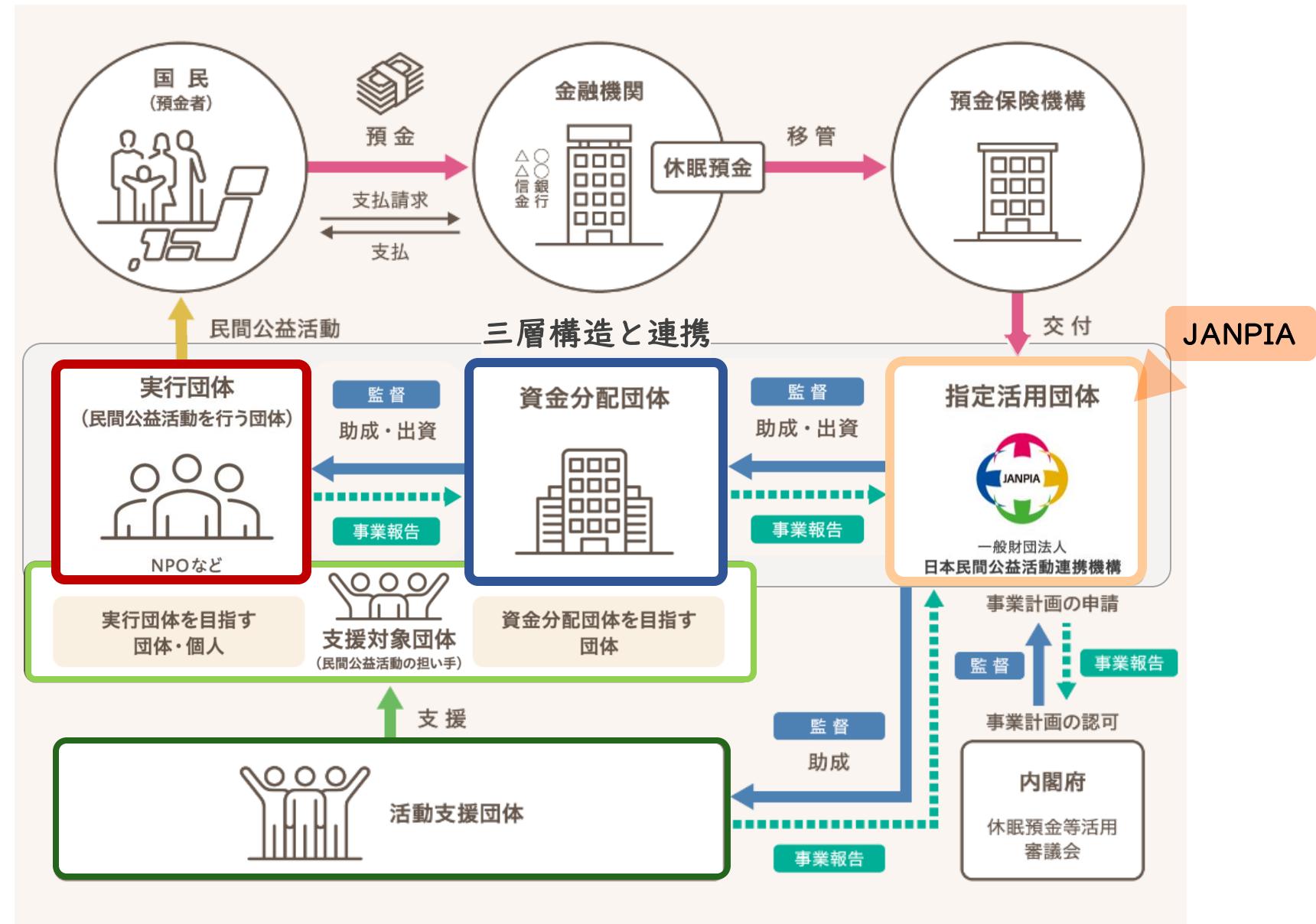
出典：

清水潤子、菅野拓、中嶋貴子(2022)

『日本におけるプログラムオフィサーの実態把握集計結果報告書(速報版)』

PO調査報告書(速報版) (suganotaku.wixsite.com)

休眠預金等活用の流れ



- ・資金分配団体、実行団体: JANPIAが規程するガバナンス・コンプライアンス体制等、適切に業務を遂行できる団体(社団・財団・NPO・株式会社等)

<休眠預金活用の助成事業で優先的に解決すべき社会の諸課題>

① 子ども及び若者の支援に係る活動

- ・経済的困窮など、家庭内に問題を抱える子どもの支援
- ・日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- ・社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

② 日常生活または社会生活を営む上での困難を有する者の支援に関する活動

- ・働くことが困難な人への支援
- ・社会的孤立や差別の解消に向けた支援

③ 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に関する活動

- ・地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
- ・安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

- 共通項は、社会的弱者と脆弱な地域の課題解決
- 特にコロナ禍で状況はさらに深刻化
- SDGsとの親和性高く、これらの課題解決を通じてSDGsに貢献



- 休眠預金活用事業は、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号)」に基づき、**国民の資産である休眠預金等を原資として進められます。**
- このため、その事業により社会課題解決に資することはもとより、**事業の公平性・透明性を確保するため、団体には「公正な資金の活用」「情報公開の徹底」及び「本制度全体の透明性の確保」等が求められています。**
- この求めに応じるため、JANPIAでは資金提供契約に「ガバナンス・コンプライアンス体制等の整備」「規程類の公開」や「人件費水準の公開」等を定めています。

Mountain of Accountability: アカウンタビリティの山



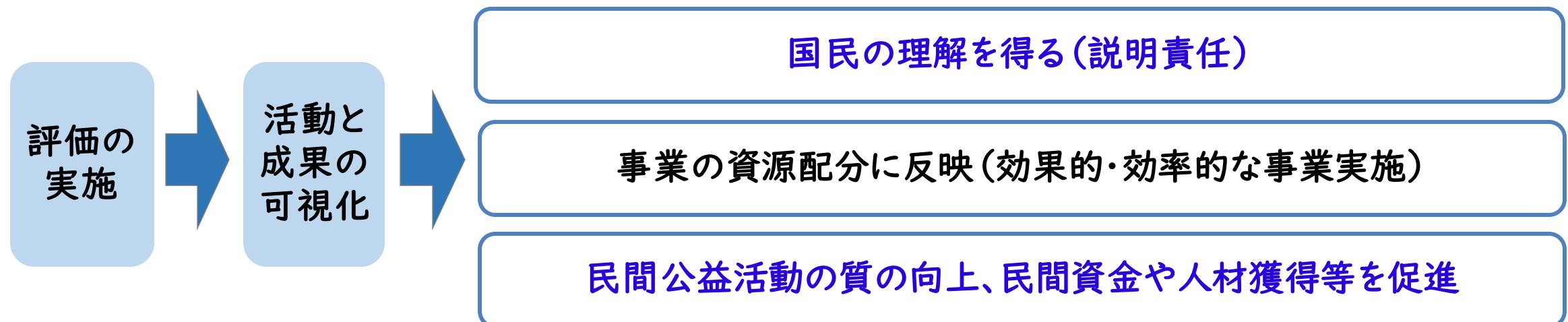
アカウンタビリティの分類	達成確認事項
第三階層 学習・発展・適応	<ul style="list-style-type: none">戦略、システム変革、使命（ミッション）の達成、原則や価値観などに影響を及ぼす学習に焦点。環境変化への適応とプログラムからの経験を次なる戦略へ生かす。
第二階層 インパクト	<ul style="list-style-type: none">プログラムのアウトカム（成果）、インパクト（効果）が目標に照らし満たす水準か。
第一階層 基本的・ベーシック	<ul style="list-style-type: none">計画通りに行ったか。（資金、活動報告）仕事の質は基準を満たしていたか。投入（インプット）、活動、結果（アウトプット）、コンプライアンス

Patton, Michael Quinn and Blandin Foundation (2014). Mountain of Accountability: Pursuing mission through learning, exploration and development. Grand Rapids, MN: Blandin Foundation, blandinfoundation.org.a
[Final_Mountain_6-5.pdf\(blandinfoundation.org\)](http://blandinfoundation.org.a)

accounting（会計）+responsibility（責任）→accountability（説明責任）※1960年代アメリカで生まれた造語

休眠預金活用における評価の意義・目的

休眠預金は国民の資産であり、その活用にあたっては、最終的に社会の諸課題の解決を図るという「成果」を国民に目に見える形で生み出すことが求められる。休眠預金等活用における評価は、評価の客觀性や正当性を確保するという前提の下、自己評価を基本としている。



- 全ての団体の活動と成果を可視化
→ 社会的インパクト評価実施のための「評価指針」を策定(2019年7月)

資金分配団体に求められる役割

1. 課題分析と案件の発掘・形成
2. プログラム開発・公募実施・伴走支援
3. 資金の助成等を通じ、自立した担い手の育成
4. 監督
5. 社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発
6. 進捗管理及び成果評価を点検・検証
7. 民間の資金の呼び込み

※基本方針より

10の力と3つの姿勢【新:PO研修カリキュラム】



JANPIAの ビジョン

誰ひとり
取り残さない
持続可能な
社会作りへの
触媒に

JANPIAの ミッション

- ①社会の優先課題を提示
- ②資金支援
- ③インキュベーター・アクセラレーター
- ④伴走型支援
- ⑤革新的手法の普及促進
- ⑥監督
- ⑦活動の広報、制度への参画の促進
- ⑧民間公益活動全体の把握
- ⑨事例の分析と活動への反映
- ⑩民間公益活動の担い手の自立化のための環境整備

研修の成果 やビジョン

私たち
POが社会の諸課題の
解決に向けた変化の実感を持ち、
自信をもってチャレンジできるようPO同士がお互いに学び合い、支え合いながら、
つながりや成長ができる機会を創出します

資金分配団体に 期待される役割

- ①課題分析と案件の発掘・形成
- ②プログラム開発・公募実施・伴走支援
- ③資金の助成等を通じ、自立した担い手の育成
- ④監督
- ⑤社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発
- ⑥進捗管理及び成果評価を点検・検証
- ⑦民間の資金の呼び込み

成果にコミットするために POに求められる 10の力と3つの姿勢

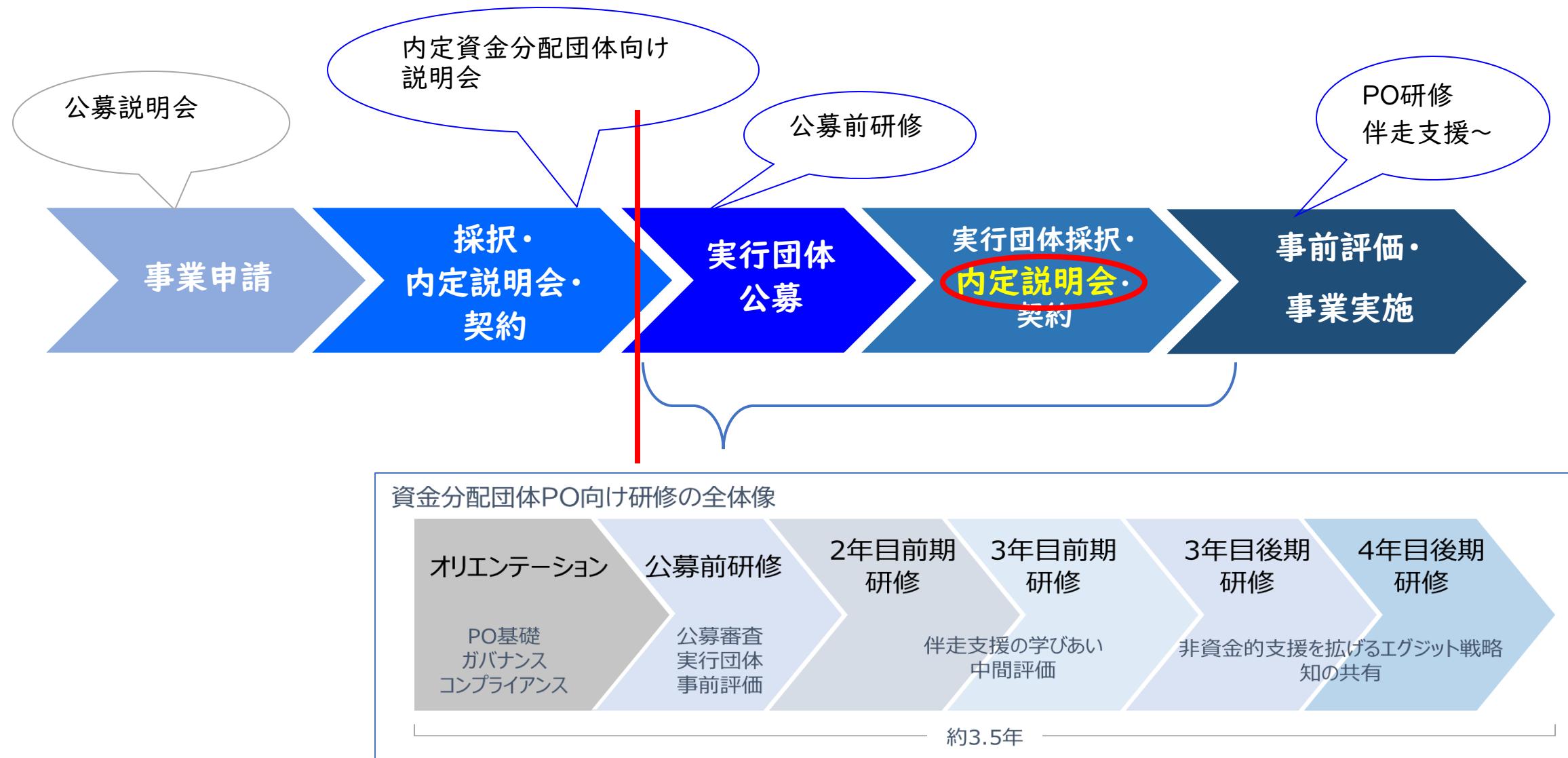
- ①課題発見力
- ②プログラム開発力
- ③団体選定力
- ④伴走支援力
- ⑤組織基盤強化力
- ⑥事業管理推進力
- ⑦コーディネート力
- ⑧エンパワーメント力
- ⑨評価分析活用力
- ⑩社会資源開拓力

a: 学ぶ姿勢
b: 謙虚な心
c: やり抜く意志

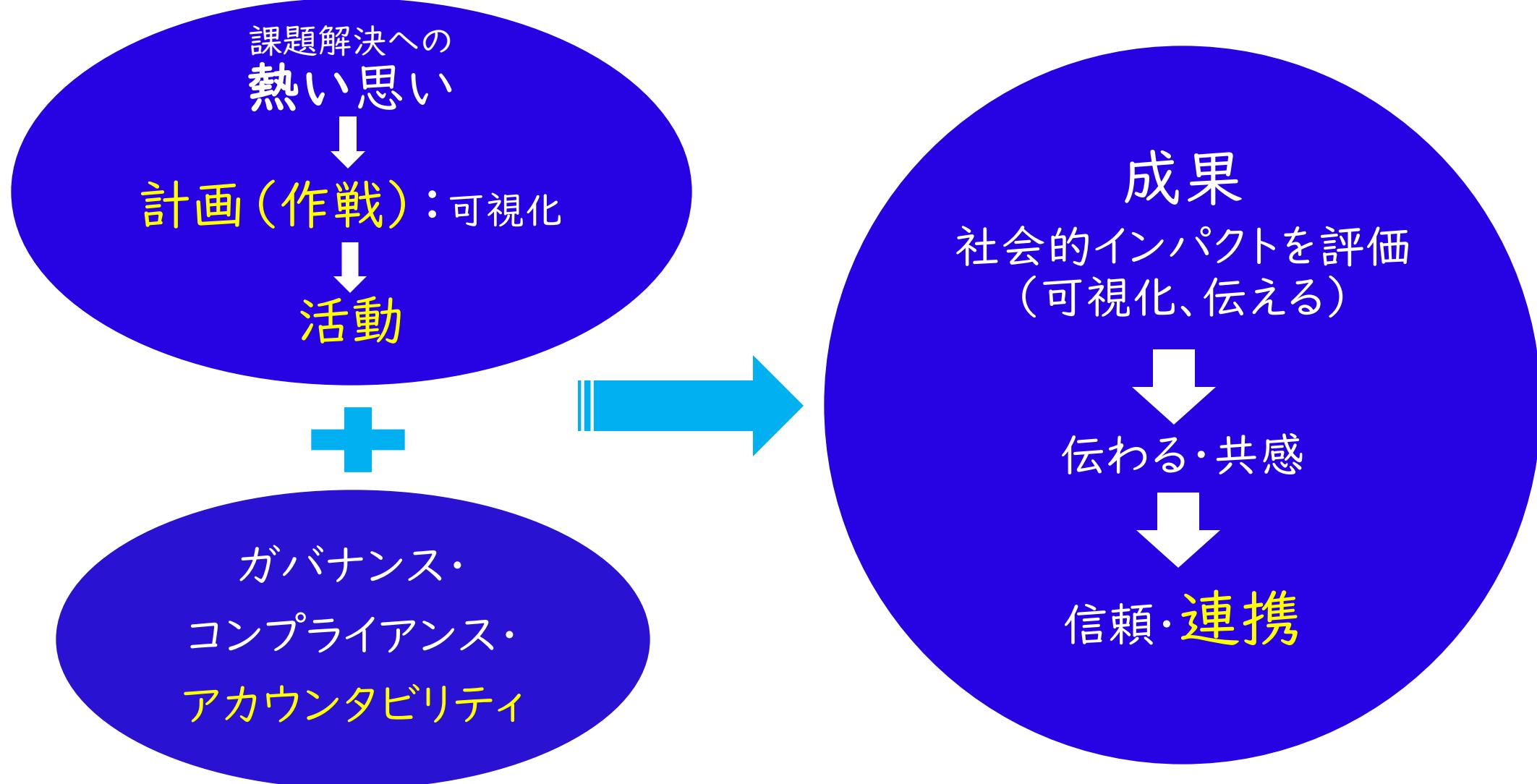
資金分配団体が求められる役割とPO向け研修

資金分配団体PO向け研修の全体像





3年間の協働で大切にしたいこと



ご清聴ありがとうございました！



了